

日星レスリング部

いざ飛躍の時

北村結心さんが92キロ級で全国大会へ

選手自体が集まりにくい重量級。部の団体戦出場もかかってくるため、監督やコーチら関係者は毎年、入部希望者集めに奔走する。

3月27日から新潟市で開催される「令和3年度風間杯第65回全国高等学校選抜レスリン

長引くコロナ禍を受け、学校での部活動には、日々の練習や対外試合などに制限のある状況が続いている。そんな中で迎えた芽吹き季節。とりわけ不自由な環境を強いられたレスリングで、黙々と力を蓄えた新星が全国の舞台に踊り出す。

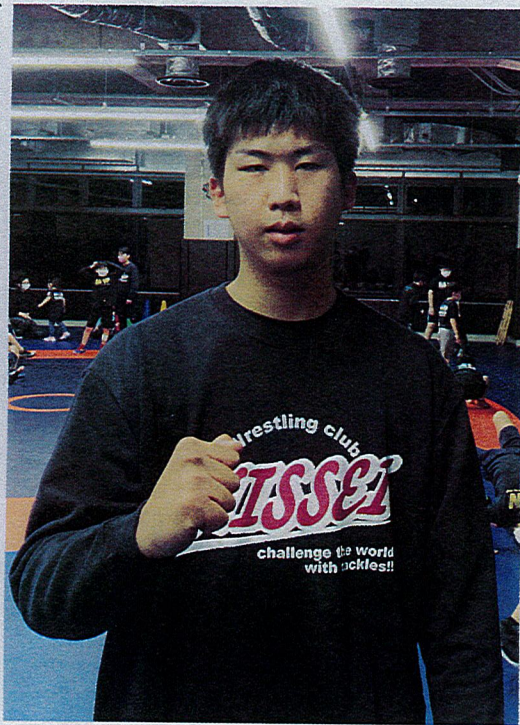
選手権大会への出場を決めた北村結心さん(日星高2年)は、大きな体に目をつけたれ入部の勧誘を受けたという。

180cmを超える上背で、入学当時とは体重も100kgを超えていた北村さん。非常に目立つ巨漢であったが、中学時代には卓球部に所属し格闘技には無縁の存在だった。

日星高レスリング部前監督の三村和さんから、何度も熱心な勧誘を受けた北村さん。最初は「格闘技は怖い。キツそう」とネガティブな先入観に支配されていたが、次第に心が傾き始めた。危ないんじゃないか」と入部を反対する家族をしり目に北村さんは、「気持ち強くしたい」と前向きな変化を望んで入部

を決めた。

「身体は大きかったが、ぼつちやり体型だった」と同部監督の山田来哉さんは北村さんの入部当初を振り返る。それまで格闘技を経験したことのない身には、厳しすぎる



全国大会に向け闘志を燃やす北村さん

中学時代は卓球部

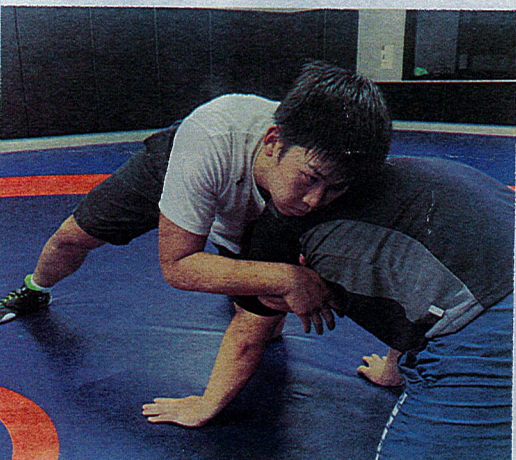
異色の巨漢が 努力で勝ち取った夢舞台



発行所
(株)舞鶴市民新聞社
〒624-0841
舞鶴市引土 171-6
電話 0773-78-2055
ファクス 0773-77-1750
郵便振替口座 01000-4-42544

来店不要 スマホで簡単申込み
ほくとしんぎんのWEB完結ローン
WEB完結型ラインナップ
・しんぎんカーライフプラン
・しんぎん教育プラン
・しんぎんカードローン
・しんぎんセレクト

詳しくはこちらから
地域元氣宣言の京都市信用金庫



熱のこもった練習風景

練習の日々が続いた。突然の環境変化になじめず、当初は部に顔を出さない日もあったという。しかしその都度、山田さんが熱心に声をかけ、半ば強引に練習へと引張った。

練習相手を務めたのは、昨年のインターハイに出場した重量級の高橋凱峰さん。今はもう部を巣立った先輩の胸を借りる日々で、100kgあった体重は80kgまで落ち、その後じつくりとつけた筋肉で90kgを超えるまでに

なりました。

そうして黙々と力をつけた北村さんは、昨年11月開催の京都府予選で優勝。本来は1月に実施予定だった近畿大会が中止となったことで、92kg級個人戦の部で全国大会出場の切

符を勝ち取った。

山田さんは、北村さんのセールのポイント

を「練習に取り組む姿勢」と評し、「コロナで試合もこなせない中、腐ることなくコツコツと取り組んだ成果。初めての大会は、これまでの努力を信じて思いつき力を発揮してほしい」とエールを送った。

北村さんは、「指導して下さった監督、コーチ、先生、先輩や仲間、そしていつも支えてくれる家族のおかげでここまで来られた。恩に

報いるためにも精一杯頑張りたい」と抱負を述べた。